第八章 留保付調印 三六九 三七〇 三七一	第二十二、日二、日本、市内部に、「「「」」、「市内部に、「」」、「「」」、「「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、「」」、	<ul> <li>三六九 明治學1年三月三六日 西国公使ヨリ</li> <li>三六九 明治學1年三月三六日 西国公使ヨリ</li> <li>第二回萬国平和会議諸條約調印ニ 関スル日本政府ノ意向照会ノ件</li> <li>(訳文)</li> <li>(訳大臣閣下ヨリ接受シタル訓令ニ従ヒ貴大臣閣下ニ かテ差支ナシト認メラル、ニ於テハ右会議(訳者曰、右会 旅戸岳文)</li> <li>(訳大臣閣下ヨリ接受シタル訓令ニ従ヒ貴大臣閣下ニ 旅戸長次)</li> <li>(訳大臣閣下ヨリ接受シタル訓令ニ従ヒ貴大臣閣下ニ 旅戸長次)</li> <li>(訳大臣閣下ヨリ接受シタル副令ニ従ヒ貴大臣閣下ニ 旅戸長次)</li> </ul>	三六八 明治學年11月両日 在海牙都筑大使ョリ 第二回萬国平和会議諸條約 ≒ 対スル英独ノ態度 報告ノ件 Faris 14/11/07., 8.40 p.m. Received 15/11/07., 8.40 p.m. Tokio. Hayashi, Tokio. No After a short trip to Germany and England arrived Paris Nov. 11. German Government is intending to submit its result of the Hague Conference to the Parliament on its opening day Nov. 21 counting upon the favourable impression they will produce. In En- gland, on the contrary, general impression is that the Conference had achieved very little. From Conversa- tion with Fisher, Haldane, Sir Edward Grey and others I gather that England will not ratify Prize	付キ調印
	<ul> <li>ニモー 明治学1年三月(三六)日 林外務大臣ョリ</li> <li>ニロ平和会議ニ 於 テ 議定セル十四 ノ 條約中国際捕獲審</li> <li>第二回平和会議ニ 於 テ 議定セル十四 ノ 條約中国際捕獲審</li> <li>大臣伊国大使 ヘ手交覚書</li> <li>大臣伊国大使 ヘ手交覚書</li> <li>大臣伊国大使 ヘ手交覚書</li> <li>大臣伊国大使 ヘ手交覚書</li> <li>大臣伊国大使 ヘ手交覚書</li> <li>六 市 北京山 二年二 (三六)日 伊国大使宛 ヨリ</li> </ul>	<ul> <li>三七〇 明治甲1年三月三六日 伊国大使ヨリ</li> <li>第二回萬国平和会議諸條約調印ニ関スル日本政府ノ意向照会ノ件</li> <li>道 書</li> <li>Le Gouvernement Italien désire connaître les inten- tions du Gouvernement Japonais relativement à la signature, de sa part, des 14 stipulations contenues dans l'acte final de la 2nde Conférence de la Haye.</li> </ul>	Court Convention unless congress of great maritime Powers concerned which Sir Edward Grey is thinking of provoking convocation for next fall shall come to an understanding on maritime law especially in regard to contraband and blockade. As to the Convention concerning rights and duties of neutrals in maritime warfare the probability is that England will ratify it with reservation obnoxious articles. Sir Edward Grey promised me that he will keep in close touch with our Embassy especially in regard to this question. I hear confidentially from rather authoritative source that the Second Russian Delegate to the Hague Tchari- koff will, if nothing intervene, most probably succeed Mr. Bakhmeteff at Tokio. He is sharp, active and somewhat uuscrupulous. Tsuzuki.	

四三〇

第八章 留保付调印 三六八

第八章

第二回萬国平和會議々決條約ノ留保

	from captor.
	and if ship removed neutral must demand its return
スヘキ旨回答アリ	tral must return ship captured if within its jurisdiction
審査中ニシテ未タ決定ニ至ラス確定次第直チニ本官ニ通知	
務ニ関スル條約ノ件外務省へ問合セタルニ目下取調委員ノ	the simple ground that while far from being ideal it
在米大使宛貴電第四〇号海戦ノ際ニ於ケル中立国ノ権利義	Convention with the following two reservations on
第三〇号	ment, upon careful consideration, decided to r
林外務大臣 小村大使	No 54 Vour telegram No 40 United States Go-
四月十六日 前八、五〇 東京着四月十五日 偏勢勇	Hayashi,
ニ関シ英国政府	Received 12/4/08. 12.25 p.m.
日本国家に国家庁で会計工具の主義の構成である。	Washington
三七五 明治四二年四月玉日 林卜翁大五位 (重取)	前件ニ関シ回報ノ件
	三七四 明治学士年2月主日 林外務大臣宛(電報)
Takahira.	
Solicitor State Department confidentially told above.	右本大臣ノ訓令トシテ在英大使ニ転電アリタシ
hortly ratified	其筋ニ問合シ電報アリタシ
Convention is now under consideration of Senate.	ヤ目下帝国政府ニ於ケル本件ノ詮議上至急承知シクキニ付
2. Article 23 rejected in full because it is in con-	バ右決定ハ何時頃トナルヘキ見込ナ
- シ居ラハ何等ノ留保カヲナスヘキ筈ナルヤ又未タ何分ノ義	As to the other thirteen Conventions, the Imperial
関シ如何ナル決定ヲナシタルヤ若シ既ニ調印スルコトニ決	for such signature, which extends to June 30th, 1909.
於テ其全部ニ就キ保留ヲナシ居レル処其後任国政府ハ右ニ	tion of the question in view of an ample time left
ル中立国ノ権利義務ニ関スル條約ニ付テハ日英米ノ委員ニ	present, and in the meantime to make full examina-
第二回平和会議ニ於テ議定セル諸條約中海戦ノ場合ニ於ケ	ment of the International Prize Court, the Imperial
第四〇号	the convention relative to the
在米高平大使 林大臣	ws:
四月十日後一時四十分発	ial Majesty's Minister for Foreign Affairs
意見問合方ノ件	ject of the fourteen Conventions annexed to the Acte Final adopted at the Second Peace Conference, His
第二回萬国平和会議々定ノ海戦ノ場合ニ於ケル	In reply to the Fro-Memoria of His Excellency the Spanish Minister, dated March 26th, last, on the sub-
三七三 明治四二年四月十日 駐割小村各大使宛(電報) 林外務大臣ヨリ	件第
	三七二 明治学1年3月三日 西国公使宛
ing further consideration,	
on the subject which involves certain j	三月
e within the prescribed term	未夕之ニ関スル意見ヲ回答シ得ルノ運ニ至ラズ
while intending to decide the questi	スル考ナレトモ右ニ付テハ尚ホ調査ヲ要スル廉アルヲ以テ
	第八章 留保付護甲 三七二 三七三

四三三

第八章

留保付调印

ヨ七四

三七五

四三五	第八章 留保付调印 三七七
係	約ハ留保ナク之ヲ
ニ付テハ英米両国ノ態度ヲ調査シ可成英国ト歩調ヲ共ニ	使ノ意見
第三、海戦ノ場合ニ於ケル中立国ノ権利義務ニ関スル條約	第二回平和会議々定諸條約調印ニ関スル都筑大
<u>.</u>	(別紙二)
三、海軍大ラムラフル確立。限フル傾派(第一傾第二	セ置クコト
年117人。 ヘーション 「「「「」」、「」」、「」」、「」、「」」、「」、「」」、「」、「」、「」、「」	第四、国際捕獲審検所設置ニ関スル條約へ当分調印ヲ見合
臣民民観川三国へへたり	調印セザルコト
	第三、軽気球ヨリ投射物等ノ投下禁止ニ関スル宣言ハ之ヲ
一、国際紛争平和的処理條約(第四十八條第三項第四項	見ノ内報ヲ待チ確定スルコト・
第二、左ノ條約ハ括弧内ノ箇條ヲ留保シ調印スルコト	(第十九條及第二十三條)但シ本項ハ英国政府ヨリ意
八、捕獲権行使制限ニ関スル條約	四、海戦ノ場合ニ於ケル中立国ノ権利義務ニ関スル條約
七、病院船ニ関スル條約	項)
六、水雷敷設ニ関スル條約	三、海軍力ヲ以テスル砲撃ニ関スル條約(第一條第二
五、商船ヲ軍艦ニ変更スルコトニ関スル條約	二、陸戦法規慣例ニ関スル條約(第四十四條)
四、恩恵期間ニ関スル條約	第五十三條第二項及第五十四條)
スル條約	一、国際紛争平和的処理條約(第四十八條第三項第四項
三、陸戦ノ場合ニ於ケル中立国及中立人ノ権利義務ニ関	第二、左ノ條約ハ括弧内ノ箇條ヲ留保シ調印スルコト
二、戦闘開始ニ関スル條約	八、捕獲権行使制限ニ関スル條約
約	七、病院船ニ関スル條約
一、国債償却強要ノ為ニスル兵力使用方制限ニ関スル係	六、水雷敷設ニ関スル條約
五、商船ヲ軍艦ニ変更スルコトニ関スル條約	明治四十一年四月廿二日付
四、恩恵期間ニ関スル條約	附屬書 右調印ニ関スル資料(一)(二)(三)
スル條約	第二回平和会議諸條約調印ニ関シ意見照会ノ件
三、陸戦ノ場合ニ於ケル中立国及中立人ノ権利義務ニ関	三七七 明治学1年四月子1日 陸海軍大臣宛
二、戦闘開始ニ関スル條約	林卜务大臣司
約	
一、国債償却強要ノ為ニスル兵力使用方制限ニ関スル條	ニ英国政府ノ内議ヲ聞訊サル、様取計ハレタシ
第一、左之條約ハ留保ナク之ヲ調印スルコト	ヲ希望セルニ付貴官ハ内密ニ右ノ内議ヲ其筋ニ打明ク同時
(別紙一)	政府ノ態度ニ重キヲ措キ且可成同政府ト同一ノ歩調ヲ取ル
調印ニ関スル資料(一)(二)(三)	條ハ之ヲ保留スヘキ内議ナリ帝国政府ハ本件ニ関スル英国
(附屬書)	ク又右ノ場合ニ於テハ少クトモ第十九條及第二十三條ノ両
候也	ヲ調印スルコト、ナラバ帝国政府ニ於テモ亦調印ヲナスヘ
共右ニ関スル御意見モ併セテ承知致度別紙相添此段及照会	帝国政府ハ目下該件ノ審査中ナル処英国政府ニ於テ同條約
知致度尚本件ニ関シテハ特ニ閣議ヲ請フ必要ナシト存候へ	貴電第三〇号ニ関シ
上佐藤委員ニ訓令致度存候処右ニ関スル貴大臣ノ御意見承	第三一号
限モ最早切迫致候ニ付右調印ニ関スル件別紙ノ通リ決定ノ	在英小村大使 林外務大臣
国委員ニ電訓シー時調印方見合サシメ置キ候処條約調印期	四月十九日後三時五分発
第二回平和会議議定諸條約ニ関シテハ龔キニ御協議ノ末帝	前件ニ関シ英国政府ノ内議開糺シ方訓令ノ件
機密送第二八号 海軍大臣(各通) 大臣	三七六 明治早1年9月末日 英国駐割小村大使宛(電報) 林外務大臣ョリ
四川四	第八章 留保付調印 三七六 三七七

四三七	第八章 留保付調印 三七九 三八〇
ノ態度ニ付客月十日貴電第四〇号御申越ノ件ニ関シテハ翌	四月二十四日 前六、三五 本省着
場合ニ於クル中立国ノ権利義務ニ関スル條約ニ対スル米国	俞女
集輯刊行致候ニ付右一部御参考迄ニ茲ニ差進候将又海戦ノ	回報ノ件国ノ権利義務條約調印ニ関スル英国政府ノ意向
約並ニ同僚約批准ニ関スル米国上院は	合ニ於ケル
/ 国務長官訓令同委員報告及同会議 ニ 於 テ 議社 ニシー・ニューション・ニューション・ニーション・ニーション・ニーション・ニュー・モン・	三七九 明治學1年四月三四日 林外務大臣宛(電報)
今役朱国ニ於テ別冊ノ通リ第二回萬国平和会議ニ関スル米公第五〇号	) \ t
) 件	
7 回	千九百八年四月二十三日 東京ニ於テ
三八〇 明治学1年5月1日 林外務大臣宛	使ハ玆ニ閣下ニ向テ重テ敬
	御送付旨蘭国外務大臣ヨリ申越有之候
***************************************	尚ホ白ノ権宦者文書位第二平印会議ノ諸文書領へ引売キ可言。 ネリイ・ステイ
タル上電報スペシ	名並其金権委員ノ氏名ヲ記入スルコトハ右日限後初メテ可
サルベシト語レリ尙ホ外務大臣ノ帰京ヲ待テ更ラニ相確メ	第二項参看)該諸協約書ノ冒頭ニ記名諸国ノ君主及元首ノ
員ノ審査結了スルニ非レバ何分ノ意見ヲ決定スルコト能ハ	ハ千九百八年六月三十日ヲ以テ終了スルニ付(最終議定書
ムペル)氏ト面談シタルニ同氏ハ英政府ニ於テハ取調べ委	右ab及cノ項ニ掲ケタル各書類ノ調印ニ対スル猶豫期間
貴電第三一号ニ関シ外務大臣ハ目下休暇旅行中ニ付(キャ	(0) b及cニ搗ケタル諸協約ノ記名国並ニ保留一覧表
第三三号	() 千九百七年十月十八日ノ宣言
林外務大臣 小村大使	<ul><li>(b) 十三箇條約</li></ul>
<ul> <li>(a) 第二平和会議長終議定書並覚書一通</li> </ul>	一、水雷敷設ニ関スル条約
送付候	一、商船ヲ軍艦ニ変更スルコトニ関スル條約
以書翰致啓上候陳ハ左記書類各十部我政府ノ命ニ依リ及御	一、恩恵期間ニ関スル條約
蘭国公使 ジー・ラウドン	スル條約
外務大臣 林伯爵閣下	一、陸戦ノ場合ニ於ケル中立国及中立人ノ権利義務ニ関
第三七四号	一、戦闘開始ニ関スル條約
送付ノ件	約
第二回平和会議 ~ 定諸條約最終議定書及覚書等	一、国債償却強要ノ為ニスル兵力使用方制限ニ関スル條
三七八 明治罕一年四月三至日 林外務大臣宛	右ノ内容目録
朝国へ走る	(別紙三)
	議開始前ニ定メ置クノ必要アルコト
	国モ亦之ニ加盟スルニ同意スヘキコトノ覚悟ハ今秋ノ会
一、国際捕獲審検所設置ニ関スル條約	印スルト否トヲ決スルコト但シ両事項如何ニ依リテハ帝
一、軽気球ヨリ投射物等ノ投下禁止ニ関スル宣言	何ニ鑑ミ且ツ今秋催サルヘキ会議ノ結果如何ニ従ヒテ調
一、海戦ノ場合ニ於ケル中立国ノ権利義務ニ関スル條約	・置き明年六月三十日迄三英国其他大海国ノ確定態度如
一、海軍力ヲ以テスル砲撃ニ関スル條約	第五、国際捕獲審検所設置ニ関スル條約ハ当分調印ヲ見合
一、陸戦法規慣例ニ関スル僚約	調印セサルコト
一、国際紛争平和的処理條約	第四、軽気球ヨリ投射物等ノ投下禁止ニ関スル宣言ハ之ヲ
一、捕獲権行使制限ニ関スル條約	約ハ留保セサルヲ得サルコト
一、病院船ニ関スル條約	へ到底同意ジ能ハサルカ故ニ如何ナル場合ト雖モ右両條
四三六	第八章 留保付调印 三七八

国国ナ

第八章 留保付調印 三八二 三八三	 ク国 コ際 ト捕	14世紀コト - 15月4日、11日、11日、11日、11日、11日、11日、11日、11日、11日、1	<b>第三、孫気球ヨリ受討勿等ノ受下禁上ニ関スル宣言へ之ヲ</b> (第十九條及第二十三條)	、海北、1000年に、1000年の一次の1000年の一次の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の1000年の	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	三、海軍力ヲ 以テスル 砲撃ニ 関スル 條約(第一條第二	陸戦ノ法規慣例ニ関スル條約(第四十四條)	五十三條第二項及第五十四條)	国際紛争平和的処理條約(第四十八條第	左ノ條約へ括弧内ノ箇修		こ、海窓沿=葛々レ条勺六、水雷敷設ニ関メル條約		恩恵期間ニ関スル條約	医単一場合に加るハ中立国及中立ノー格示家	喜なく また ニペトレコ 工国を 三二 しく 産川 義务 三戦闘開始 二関スル 條約	第月フー時夏をってする」の目前電化及手を延好。	一寺乱子は豊かノ度言及鼋川星突凡主後女守	第二回平和会議ニ於テ議定セル諸條約ノ義ニ関シテハ囊キ	機密送第二号	海牙 佐藤副委員宛			林 外務大臣	明治四十一年五月六日附	第二回平和会議議定諸條約調印ニ関シ訓令ノ件	三八一明治学二年当天日 蘭国駐割佐藤公使宛	ト务、タ、毎三大豆	******			外務大臣伯爵 林 董殿	在米 特命全権大使男爵 高平小五郎(印)	明治四十一年五月一日	添候 敬具	議文ハ前記文書第一五三頁ニヨリ御承知相成度為念此段申	↑一日第五〇号電報ヲ以テ及回答置候処右ニ関スル上院決	第八章 留保付調印 三八一
四三九	三八三 明治学1年吾月1大日 林外務大臣宛(電報)		政府ニ交渉シ其意向ヲ確メ電報アル様致シタシ	能ハサルニ至ルベク甚々遺憾ノ次第ニ付貴	カロ成同政府ト其態度ヲ同ウセントノ希望	1丁戌]な日、に転行り] ハエハハ 帝國	件ヲ佐藤公使ニ訓令スルノ必要アリ就テハ此	調印ノ期限追々近キタルニ付政府ハ近日中ニ調印ニ	貴電三三号ニ関シ	在英小村大使 林大臣	第四六号	五月廿六日前十一時五十分発	ノ件	條約調印ニ関スル英国政府ノ意向開糺シ方再訓海戦ノ場合ニ於ケル中立国ノ権利義務ニ関スル	(龍莽)	三八二明治四十年五月二六日英国駐劄小村大使宛林外務大臣ヨリ	*		一、国債償却漁要ノ為ニスル兵力	第一、左ノ條約ハ留保ナク之ヲ調印スルコト	左 記	敬具	写ニ朱線ヲ附シ及御送附候間御参照相成度候右及訓令候	尚前記諸條約中留保ヲナスヘキ條項ニ付テハ別紙條約正文	ノ次第ニ付調印セラル、ニ不及候	捕獲審検所設置ニ関スル條約ハ左記第三及第四項記載ノ通	約即チ軽気球ヨリ投射物等ノ投下禁止ニ関スル宣言及国際	待チ前記十二箇ノ條約調印相成候様致度候又他ノ二箇ノ條	付右ノ点ノ確定シタル上更ニ電報可致候間右電報ノ接受ヲ	ルニ依リ其結果或ハ之ニ異動ヲ生スルコトアルヤモ難料ニ	ノ留保スヘキ條項ニ付テハ目下英国政府ト交渉中ノ次第ア	尤モ海戦ノ場合ニ於ケル中立国ノ権利義務ニ関スル條約中	Avec la réserve 云々ノ文字ヲ 記入シ之ニ 調印可相成候	載ノ條項ヲ留保シ 調印ノ 際他国ノ例ニ依リ 適当ノ 場所ニ	調印セラレ又第二項ニ掲ゲタル四條約ニ付テハ括弧内ニ記	貴官ハ左記第一項ニ掲ゲタル八條約ハ何等ノ留保ナク之ヲ	テ篤ト詮議ヲ遂ゲタル末右調印ノ義左記ノ通決定致候ニ付	四三八

四四	第八章 留保付調印 三八六 三八七
外務大臣伯爵 林 董殿	テ英国政府ノ意見ヲ捜ラシメタル処最近同大使来電ニ拠レ
陸軍大臣子爵 寺 内 正 毅(印)	次第ハ既ニ御承知ノ通リニ有之候右ニ付在英小村大使ヲシ
明治四十一年六月十五日	付夫レ 迄諸条約全部 ノ 調印ヲ 差控ユヘキコトト 相成居候
陸普第三〇八五号	約ニ調印ノ儀ハ英国政府ノ意見ヲ確メタル上決定スベキニ
前件回答ノ件	令ニハ 海戦ノ場合ニ 於ケル 中立国ノ権利義務ニ 関スル 條
三八七 明治学1年六月宝日 林外務大臣宛	軍) ヲ以テ及御協議候結果同委員ニ対シ訓令相成候処右訓軍) ヲ以テ及御協議候結果同委員ニ対シ訓令相成候処右訓員ニスサ(海員ニズスル訓令ノ要旨ニ付匹月廿二日除极密第二八号(海
	1. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
ノ御意見折返承知致度此段及御照会候也	¥
旨至急佐藤副委員ニ電訓致度存候就テハ右ニ関スル貴大臣	機密送第四〇号 薩軍大臣(各通) 林外務大臣
十三條ヲ留保シテ他ノ諸條約ト同時ニ同條約ニ調印スベキ	明治四十一年六月十三日発遣
大差ナカルベキ様被思考候ニ付前藤ノ通リ第十九條及第二	九條及第二十三條ノ調印ニ対スル意見照会ノ件ネ単ノもそニカンフロコ目」オ末言系作系を一
テ帝国政府ノ意見	
客ニシテ像メ調印ノ手涜執行ニ必要ナル時日ヲ見漬リ置ク(*44系ノ、**********************************	三八大明治学生手が目前、林外務大臣ヨリ
之侯然ル=者条勺ノ周印明ハ今月三十日ヲ以テ終了スヘキハ閣議ヲ経テ右上申ノ採否ヲ決スルコトトナリタル趣ニ有	
<b>條ハ之ヲ承認セサルコト、シ度旨同国政府ニ上申シ同政府</b>	Notitura.
撤回ス	approval of cabinet.
十九條	above recommendation will be adopted subject to the
Government cannot accept	
at the time of ratification and made a declaration that	reported to the Government recommending adhesion
which may be or mor	
committee recommend that His Britann	reference to my telegram 39.
ation.	Tokio.
received from Foreign Office June 4th the following	Hayashi,
No. 42. In reference to my telegram 41. I have	Rec'd, June 2, 1908. 8. a.m.
Tayasm, Tokio,	同首乎 (二) London
Kec'a, June 5, 1908. 7-40 a.m.	前午(こ)
000 T	三八四 明治学1年六月二日 林外務大臣苑 (電報)
同前件(三)	
三八五 明治学二年六月五日 林外務大臣宛(電報)	報ス ~ シ
	ナリ右決定次第直ニ本官ニ通告セラルベキニ付速ニ之ヲ電
	日当国政府へ提出セラル、筈ニ付近日決定ニ至ルヘキ見込
Komura.	貴電第四七号ニ関シ該條約調査委員ノ報告書ハ明後二十九
I shall not fail to telegraph again.	第三九号
nation from Foreign Of	林外務大臣 小村大使
(:).	五月廿八日 前二二〇 本省着
+'+	<b>命</b> 攻 裕
	第八章 留保付調印 三八四 三八五

四回三	第八章 留保付調印 三九〇 三九一
條約ニ調印方訓令ノ件海戦ノ場合ニ於ケル中立国ノ権利義務ニ関スル	Referring to the Memorandum, presented, some time ago, to H. E. the Italian Ambassador in reply
三九一 明治学士年六月式日 蘭国駐劄佐藤公使宛林外務大臣ョリ	(右英文)
•••••	国大吏」として、前日スルコトニ決定セ
June 19th 1908.	間ニ意見ノ一致ヲ缺クヲ以テ調印セザルコトトシ残余十二
Department of Foreign Affairs,	合セ軽気球ヨリ投射物等ノ投下禁止ニ関スル宣言ハ諸強国
	内国際捕獲審検所設置 ニ 関スル僚約ハ当分之 ガ 調印 ヲ見
plete	キシガ 本件 ニ 関シ 帝国政府ハ今般詮議ノ 結果十四條約ノ
eclaration prohibiting the dischar	公使閣下ノ 問合 ニ 対シ 帝国政府ノ 意向一応回答ニ及ヒ置
have decided to withhold their agreeme	第二回平和会議 ニ 於 テ議決シタル諸條約ニ関 シ 向者西国
blishment of an International Prize Court	第二回平和会議諸條約調印ニ関スル回答覚書
thirteen Conventions. They do not, for the pre- sent intend to sign the Convention relative to the	三九〇 明治学1年、月末日 伊国大使及西国公使宛
eir consent to twelve of	
that t	
Minister for Foreign Analis now has the honour, in complement to his former response, to acquaint	電有之候間右樣御承知相成度不取敢此段申進候也
mulated by the Second Peace Confer	約ニ関スル委員会ノ建議ヲ採用スルコトニ決定致シ候旨来
by the Imperial Government regarding the fourteen	大使ヨリ英国政府ハ愈々何等ノ変更ヲ加フルコトナク同条
to the inquiry made by him as to the decision taken	調印ノ件ニ付及御協議候次第有之候処一昨十八日在英小村
過日海戦ノ場合ニ於ケル中立国ノ権利義務ニ関スル條約等	
第二回平和会議々定條約調印ニ関スル件	
機密送第四二号 寺内陸軍大臣(各通) 林外務大臣	
ş	右回答ス(終)(終)
明合四十一手六月廿日洛置	、起了海木具在無之他
右電報内容陸海軍大臣へ移牒ノ件	信用の設計
(附記)	4
	会議 に
Komura	
out any modification.	海軍大臣男爵 斎 藤 _ 実(印)
recommendation of the committee w	明治四十一年六月十七日
se inform me that British Government 1	官房機密二〇六号ノ四
No. 46. In reference to my telearam No. 49 Foreign	同前件
Hayashi, Tokio	三八八 明治毕1年(月十日 林外務大臣宛
Received 8/6/08., 4.50 a.m.	新家 病 家 毎 東 大
London,	
附 記 右電報内容陸海軍大臣へ移牒ノ件	
ニ関スル英国政府ノ意向報告ノ件海戦ノ場合ニ於ケル中立国ノ権利義務條約調印	承右へ御来示ノ
	務ニ関スル條約調印ノ儀ニ付機密送第四〇号ヲ以テ照会ノ
三八九明合学に年代月六日英国駐劄小村大使ヨリ	第二回平和会議議定ノ海戦ノ場合ニ於ケル中立国ノ権利義
四四二	第八章 留保付調印 三八八 三八九

noticity, and in conjunction with your concagnes, to each of whom a copy of this despatch will be fur- nished, to carry out the following directions.	、 六月十八日英国外務大臣ョリ平和会議英国全権 委員宛
it your convenience towards the end of the pr	(附屬書二)
I have accordingly to request you to be so good as to proceed to The Hague at a date which may	His Excellency Count Komura
expires on the 30th instant.	Signed: F. A. Campbell.
Ple	<u> </u>
which these instruments (with the exception of the Convention relating to the creation of an International	Your Excellency's most obedient, Humble Servant,
As your Excellency is aware, the period within	1 have the honour to be, with the highest considera- tion,
Act of the Second Feace Conference held at 1 he Hagde last wear	e rec
&c., from balloons, which were annexed to the Final	to the signature by them of the Conventions drawn
the Declaration respecting the discharge of projectiles,	furnished to the British Plenipotentiaries with regard
the majesty's covernment have had under their attentive consideration the various Conventions, and	، °
Maintain Commont hours had	on the 2nd instant, I hav
roreign Oilice, Tune 18th 1908.	Your Excellency :
(No. 1. Treaty.)	Confidential.
终于国际国际来到1000、发作新1000日元。全国各人	June 22nd 1908.
	5
件、同名本記書:4、2、2話名在258本:昌之文	
時方司会権認見モチャンコからきするないの第二回萬国平和会議々定條約調印方ミ付英国政六月二十二日付英国外務大臣ヨリ小村大使宛	六月二十二日平和会議議定條約十二通ニ記名セリ
(附屬書一)	第一七号
外務大臣伯爵 林 董殿	
特命全権大使伯爵 小 村 寿 太 郎(印)在英	前七、三〇 本省着後五、四〇 海牙発
明治四十一年六月二十五日	件
候 敬具	第二回平和会議々定ノ諸條約中ノ十二通ニ対シ
考ニ相成候哉ト存シ玆ニ及差進候間御査関相成度此段申進紙ノ通リ右訓令写ヲ送附シ来リ候右ハ帝国政府ニ於テ御参	三九二 明治学1年、月三二日 林外務大臣宛(電報)
本件ニ関シ本使内密ノ心得マデニ本月二十二日附ヲ以テ別	
今三関スル牛	
第二座は会議を営業勾関ロケーナを固め守た司会議会機密第一三号の日本の第一七月二十一日接受	方文十八ノクク句に周印ノニハ上日寸電及アリック取計イレクシネノ越石砂名大公使及在米大使ノ
和会議英国全	ラレー確定
六 小 村 大 使	ニ関スル條約ハ第十九條及第二十三條ヲ留保シ之ヲ調印ス
附屬書一(六月二十二日付英外務大臣ヨリ)同国五本翌世ニモニタル副子生シア副子生シア	機密送第二号ニ関シ海戦ノ場合ニ於ケル中立国ノ権利義務
J国全海級↓= チヽクレ川かみを対クト 第二回平和会議諸條約調印ニ関シ英国政府ヨリ	
三方三 明治学1年5月14日 林外務大臣宛	侟
	第八章 留保付调印 三九二 三九三

四四五

第八章 留保付调印 三九三

第八章 留保付调印 三九三

You are jointly authorized to sign the under-mentioned instruments without reservation :---

1. The Convention for the pacific settlement of International disputes.

Articles 6 and 21.

 The Convention respecting the limitation of the employment of force for the recovery of contract debts.

3. The Convention relative to the opening of hostilities.

4. The Convention respecting the laws and customs of war on land.

5. The Convention relative to the Status of enemy merchant-vessels at the outbreak of hostilities.

6. The Convention relative to the conversion of merchant-vessels into ships of war.

7. The Convention relative to certain restrictions on the exercise of the right of capture in maritime war.

8. The Declaration prohibiting the discharge of projectiles and explosives from balloons.

You are authorized to sign the Convention respecting the rights and duties of neutral Powers and persons in war on land, with reservations as to Articles 16,

You are authorized to sign the Convention relating to the rights and duties of neutral Powers in maritime war, with a reservation as regards Articles 19 and 23.

war, with a reservation as regards refuces 17 and 25. The Convention for the creation of an International Court of Appeal in prize matters is still engaging the consideration of His Majesty's Government. The time within which this Convention may be signed does not, as your Excellency is aware, expire for another year, and in these circumstances you should abstain from signing it on the present occasion.

You should furnish to this Department in due course an account of your expenses in proceeding to and from The Hague, and you will be reimbursed in the amount thereof.

I am, &c. (signed) E. Grey

His Excellency

The Right Honourable Sir Edward Fry, G. C. B., &c., &c., &c.

Addendum.

In despatch No. 1, Treaty, of the 18th June, to Sir E. Fry, after the words "Articles 6 and 21," in the

有スル諸條約即チ

第八章 招保付调印 三九四

17, and 18, and also to sign the Convention for the adaptation of the principles of the Geneva Convention of 1906 to maritime warfare, with reservations as to

In signing the Convention relative to the laying of automatic submarine contact mines you will attach to your signatures a declaration in the following terms:--

"In affixing their signatures to the above Convention, the British Plenipotentiaries declare that the mere fact that this Convention does not prohibit a particular act or proceeding must not be held to debar His Britannic Majesty's Government from contesting its legitimacy."

This declaration is, in effect, a reiteration of the statement made by Sir Ernest Satow in the concluding portion of his speech at the 8th plenary meeting of the Conference.

You are authorized to sign the Convention respecting bombardments by naval forces in time of war, subject to the reservation of the second paragraph of Article I, as made by you at the 4th plenary meeting of the Conference,

paragraph relating to the Convention for the adaptation of the principles of the Geneva Convention of 1906 to maritime warfare, insert following sentence:---

"In signing the latter Convention you will add a declaration to the effect that His Majesty's Government understand Article 12 to apply only to the case of combatants rescued during or after a naval engagement in which they have taken part."

(訳文) (訳文)

外務大臣 寺內子爵閣下

蘭国臨時代理公使 レオン・ファン・ド・ポルデルクネント ニート・コー

会議閉会ノ際成立シ孰レモ千九百七年十月十八日ノ日附ヲ当公使館ヨリ閣下ノ前任者宛申進候儀有之候処第二回平和以書翰致啓上候陳ハ去ル四月二十三日附第三七四号ヲ以テ第七七二号

第九章 議事録/公刊 三九五	三九五 明治541年41月三六日 闕国代理公使ヨリ 第二回萬国平和会議部事録第二編及第三編公刊 ニ関シ日本政府ノ意向照会ノ件 外務大臣 小村伯爵閣下 レオン、ファン、ド、ポルテル ノ文書ニ付為シタル如ク第二回平和会議小型の府ハ右ニ付予メ該会議ニ参加シタル設置の府ニ於テハ嘗テ第一回平和会議 ノ文書ニ付為シタル如ク第二回平和会議ノ文書フモ刊行セ シムルノ計画ニ有之候趣本国外務大臣ヨリ本使へ通知シ来 ノ文書ニ付売ショントノ意見ニ有之実際諸種ノ国際的若ハ 学求ムルヲ要スヘシトノ意見ニ有之実際諸種ノ国際的若ハ 外交的会議ノ議定書其他ノ文書ハ原則トシテ秘密書類ト 看做サレサル可ラサルモノニ有之候蓋シ文書類ノ公刊ニ付 当然何等ノ異議ヲモ存セサルヘキハ公開シタル会議(例ヘ ハ第二回平和会議ノ総会議)ニ於テ取扱ヒタル諸国ノ承諾	第 九 章 議 事 録 ノ 公	<ul> <li>第八章 留保付調印 三九四</li> <li>a 最終議定書(第十匹)</li> <li>c 宣 言(第十四)</li> <li>ニ対スル記名諸国名及右諸條約ニ関シ該記名諸国ノ表明シーンの保留ヲ指示シタル表十部本国政府ノ命ニ依リ別冊ノ通クル保留ヲ指示シタル表十部本国政府ノ命ニ依リ別冊ノ通ノ差進候間御査収相成度候</li> <li>「第八章 留保付調印 三九四</li> </ul>
四四九	<ul> <li>編へ此種ノ文書類ヲ掲クルニ過キサルヲ以テ蘭国政府へ豫</li> <li>シイニル第二編及第三編ニ就テハ右ト問題ヲ異ニシ該両編へ秘</li> <li>マル第二編及第三編ニ就テハ右ト問題ヲ異ニシ該両編へ秘</li> <li>マル第二編及第三編ニ就テハ右ト問題ヲ異ニシ該両編へ秘</li> <li>マルコトヲ欲セサル次第ニ有之候</li> <li>「ヨンクヘール、ド、マレース、ファン、スウィンテ</li> <li>本旨「ヨンクへール、ド、マレース、ファン、スウィンテ</li> <li>本旨「ヨンクへール、ド、マレース、ファン、スウィンテ</li> <li>本旨「ヨンクへール、ド、マレース、ファン、スウィンテ</li> <li>本旨「ヨンクへール、ド、マレース、ファン、スウィンテ</li> <li>本旨「ヨンクへール、ド、マレース、ファン、スウィンテ</li> <li>本旨「ヨンクへール、ド、マレース、ファン、スウィンテ</li> <li>本」の間宮アリクルモノト 看做スへキ 旨併セテ 命ニ依リ 及御</li> </ul>	子 刊	四四八 第八日十日東京ニ於テ 御送附可致心得ニ有之候旨併セテ通知有之候 御送附可致心得ニ有之候旨併セテ通知有之候 有中進旁々本使ハ茲ニ閣下ニ向テ重テ敬意ヲ表シ候 敬具 二年進旁々本使ハ茲ニ閣下ニ向テ重テ敬意ヲ表シ候 敬具 二年九百八年八月十日東京ニ於テ